８．五代若松原地区

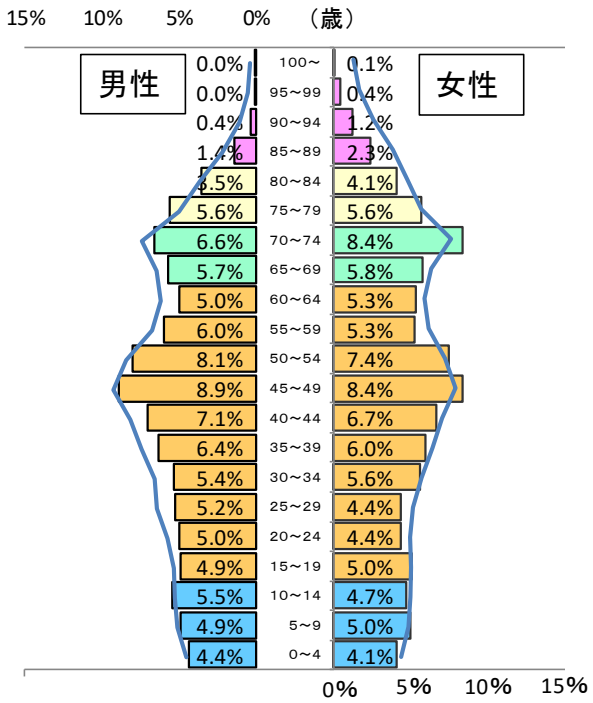
（１）地域資源・生活環境の状況

ア　地域資源・生活環境の状況

・**総人口：7,820 人（男性 3,833 人，女性 3,987 人）**
・世帯数：3,376 世帯（１世帯あたり 2.32 人）
・国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者数：3,159 人
・高齢化率：25.7%（市全体 25.7%）
・後期高齢者比率：12.4%（市全体 12.5%）
・要介護認定率：16.3%（市全体 18.0%）

資料：住民基本台帳人口（R3.9.30）等

図Ⅱ－Ⅱ－１　性別・５歳階級別人口



資料：住民基本台帳

図Ⅱ－Ⅱ－２　年齢３階級別構成比（R3.9.30）

	地区	市全体
15歳未満	14.2%	12.9%
15～64歳	60.1%	61.4%
65～74歳	13.3%	13.2%
75～84歳	9.4%	8.6%
85歳以上	2.9%	3.9%

資料：住民基本台帳

図Ⅱ－Ⅱ－３　人口指数（R3.9.30）

	地区	市全体
従属人口指数	66.3	62.9
老年人口指数	42.7	41.8
年少人口指数	23.6	21.0
老年化指数	180.5	198.8

資料：住民基本台帳

図Ⅱ－Ⅱ－４　産業別就業人口構成比（R２）

	地区	市全体
第１次産業	1.5%	2.3%
第２次産業	23.7%	25.4%
第３次産業	71.8%	68.6%

資料：令和２年国勢調査

イ　地域組織・活動の状況

自治会	自治会数	７自治会
	加入世帯数	1,978 世帯
安全・安心にかかる取組	・交通安全運動にリンクした立哨活動 ・登下校時の安全指導及び，定期的な管内巡回 ・地区自主防災会等を中心とした防災訓練の実施	
スポーツ行事	中止：新型コロナウイルス感染拡大防止のため ５月：ソフトボール大会（中止） ６月：バレーボール大会（中止） ９月：ふれあい体育祭 ２月：連合会新春マラソン大会（中止）	
地区イベント	中止：新型コロナウイルス感染拡大防止のため ８月：五若の日事業（中止） ８月：五代夏祭り（中止） 10 月：ふれあいキャンプ（中止） 11 月：五若文化祭（作品展のみ） 11 月：五若ふれあいのつどい イルミネーション点灯のみ ２月：まちづくり懇談会 ３月：防災訓練	

資料：令和４年度宇都宮市みんなでまちづくり課地域支援データ

ウ　地域資源マップ

地域資源			
バス路線（本数）	60 本（平日）	運動施設等	０施設
バス停	９停留所	健康遊具公園	６か所
駅	０駅	地域集会所	２か所
学校（小中高）	１校	ふれあい・いきいきサロン	１か所
地域行政機関	１施設	スーパー・ドラックストア	５店舗
地域包括支援センター	０施設	病院・診療所	５施設
子育てサロン	１施設	歯科診療所	５施設

【地域の質的状況】

- 五代若松原地区は，地形はほぼ平坦な台地で，宅地が主の「住宅街」である。平成６年度に雀宮地区から独立し，平成 15 年度にみどり野町自治会，平成 22 年度に五代２丁目自治会が加入し，７つの自治会から構成されている。
- 地区内・隣接地区には，保育・教育機関，医療機関，スーパーやドラッグストア等が複数存在し，生活の利便性は高い。

資料：宇都宮市都市計画課・公園管理課・交通政策課統計データ（令和３年度）等

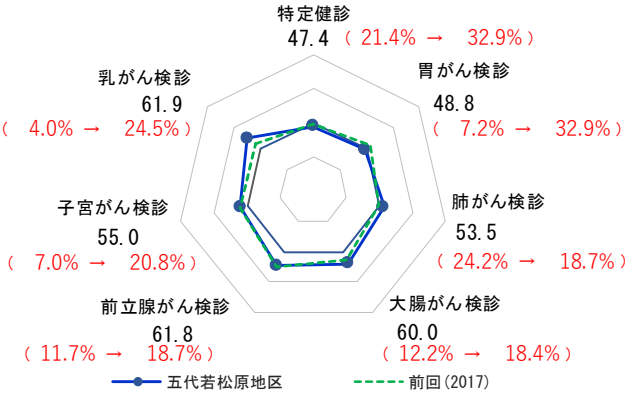
（２）健診・医療・介護（KDB 等）

ア　健診の状況

（※市全体の割合を 50 とし，上限を 90，下限を 10 とした場合の値，＊90，＊10 は上限・下限を超える値）

①　特定健診等受診率（大きいほど良い）

（対象）特定健診：国民健康保険被保険者
胃・肺・大腸がん：40歳以上
前立腺がん：50歳以上（男性のみ）
子宮がん：20歳以上（女性のみ）
乳がん：30 歳以上（女性のみ）
（40 歳以上は２年に１回）

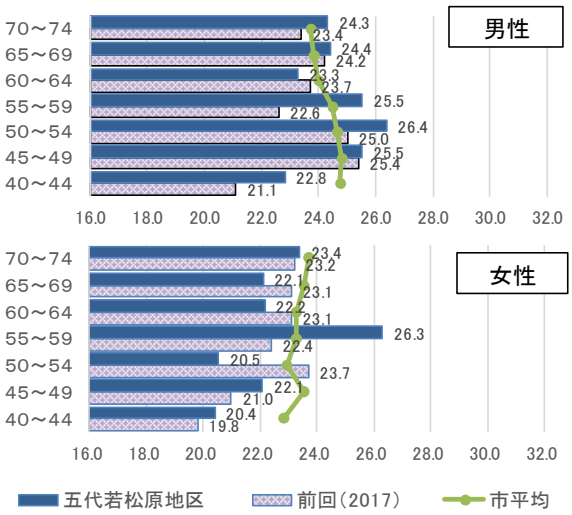


＊（ ）内は実際の受診率の経年変化を指す

資料：令和３年度 KDB 等データ

②　BMI（年齢別平均値）

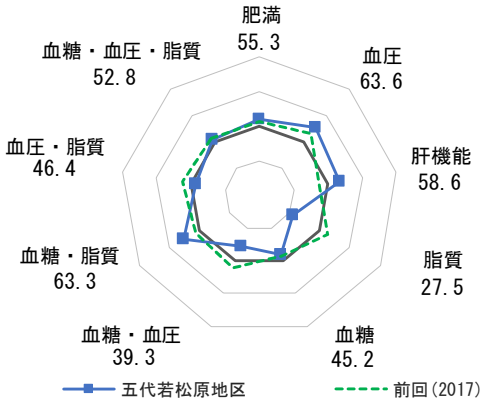
（対象）国民健康保険被保険者



資料：令和３年度 KDB データ

③　生活習慣病リスク保有率（小さいほど良い）

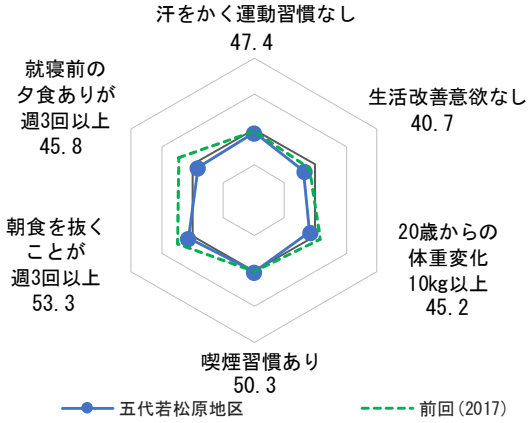
（対象）国民健康保険被保険者



資料：令和３年度 KDB データ

④　行動特性（小さいほど良い）

（対象）国民健康保険被保険者

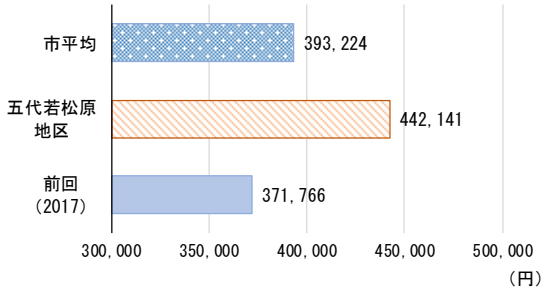


資料：令和３年度 KDB データ

イ　医療の状況

①　１人当たり年間医療費等

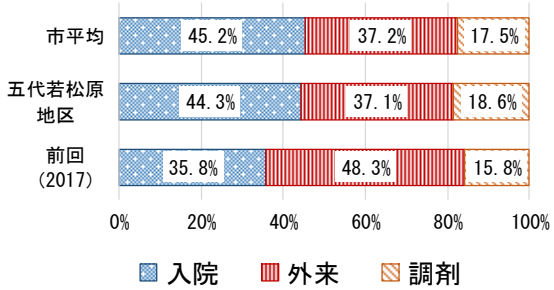
（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：令和３年度 KDB データ

②　入院・外来・調剤別医療費の割合

（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：令和３年度 KDB データ

③　医療費の内訳（構成比）　（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者

	市全体	地区		前回
糖尿病	4.73%	3.91%	（ ↓ ）	4.52%
高血圧症	8.33%	7.14%	（ ↓ ）	3.81%
脂質異常症	0.02%	0.00%	（ ＝ ）	4.04%
高尿酸血症	0.84%	0.68%	（ ＝ ）	0.09%
脂肪肝	0.08%	0.16%	（ ＝ ）	0.23%
動脈硬化症	0.00%	0.00%	（ ＝ ）	0.21%
脳出血	0.15%	0.06%	（ ＝ ）	0.12%
脳梗塞	0.90%	0.81%	（ ＝ ）	1.63%

	市全体	地区		前回
狭心症	1.56%	1.49%	（ ＝ ）	6.83%
心筋梗塞	0.12%	0.27%	（ ＝ ）	0.07%
がん	4.46%	3.16%	（ ↓ ）	9.12%
筋・骨格	11.37%	11.29%	（ ＝ ）	11.95%
精神	2.77%	2.52%	（ ＝ ）	2.28%
慢性閉塞性肺疾患（COPD）	0.22%	0.17%	（ ＝ ）	0.18%
慢性腎不全	1.74%	1.74%	（ ＝ ）	12.24%

資料：令和３年度 KDB データ

市全体との差が±0.5%以内：（＝），市全体との差が 0.5%より高い（↑），低い（↓）

ウ　介護の状況

①　基本情報

（対象）65 歳以上

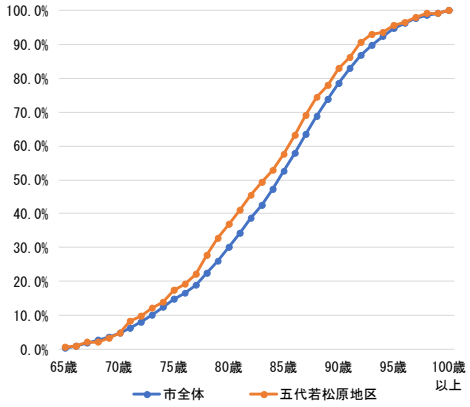
		地区		（市全体）	前回
1号被保険者数		2,006人			2,757人
認定者数		326人			217人
認定率		16.3%		18.0%	15.5%
【内訳】		人数	構成比		
要支援	要支援1	67人	36.2% （↑）	32.6%	35.0%
	要支援2	51人			
要介護	要介護1	60人	33.1% （↓）	34.7%	31.3%
	要介護2	48人			
	要介護3	34人	30.7% （↓）	32.7%	33.6%
	要介護4	40人			
	要介護5	26人			

市全体との差が±1.0%以内：（＝），市全体との差が 1.0%より高い（↑），低い（↓）

資料：令和３年度宇都宮市高齢福祉課介護台帳

②　年齢分布（累計）

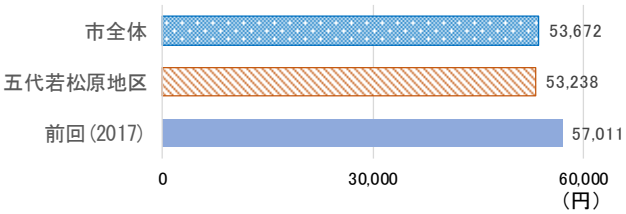
（対象）65 歳以上



資料：令和３年度宇都宮市高齢福祉課介護台帳

③　１件あたり介護給付月額

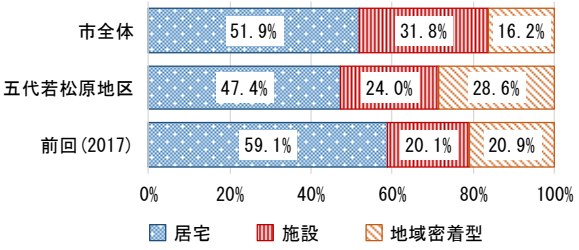
（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：令和３年度 KDB データ

④　サービス別介護給付費の割合

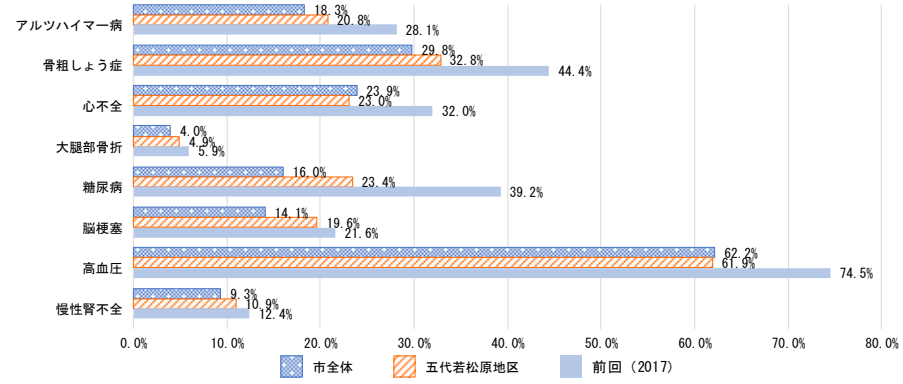
（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：令和３年度 KDB データ

⑤　認定者の有病率

（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者

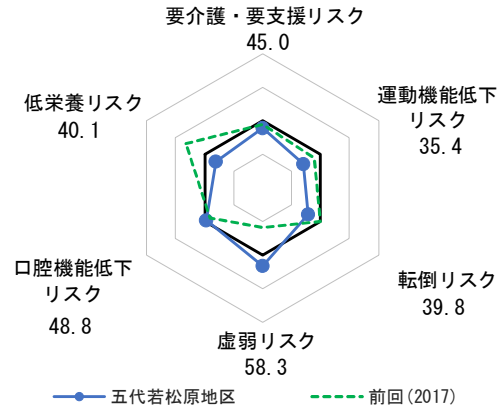


資料：令和３年度 KDB データ

（３）生活習慣・社会参加

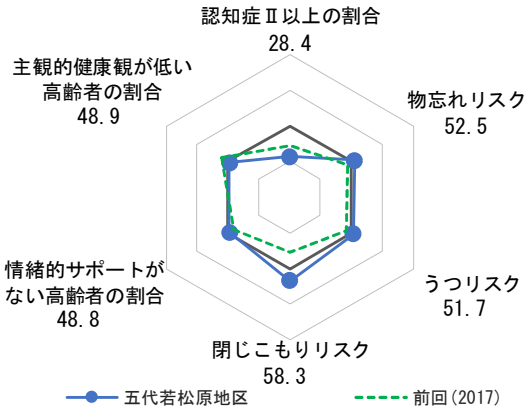
（※市全体の割合を 50 とし，上限を 90，下限を 10　とした場合の値，＊90，＊10 は上限・下限を超える値）

①　要支援・要介護のリスク（小さいほど良い）



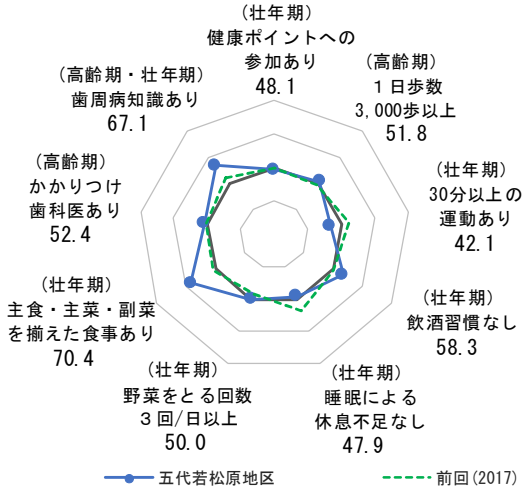
資料：令和４年健康意識アンケート調査（高齢期）

②　認知症リスク（小さいほど良い）



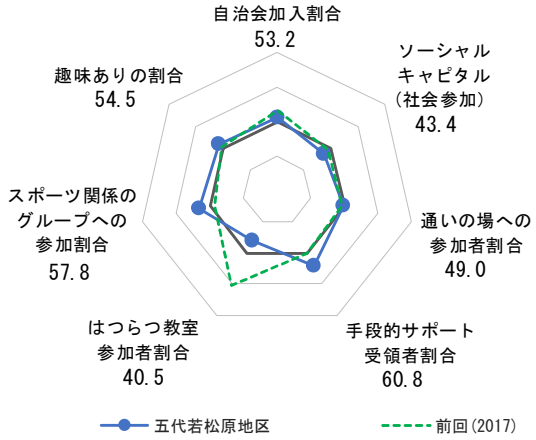
資料：令和４年健康意識アンケート調査（高齢期）・宇都宮市高齢福祉課データ

③　生活習慣（大きいほど良い）



資料：令和４年健康意識アンケート調査
（高齢期，壮年期）

④　社会参加・社会的ネットワーク（大きいほど良い）



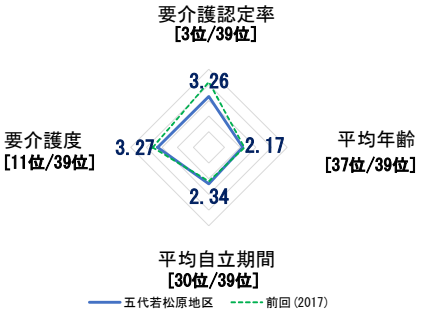
資料：令和４年健康意識アンケート調査（高齢期）

手段的サポート受領者割合＊：看病や世話をしてくれる人がいる高齢者の割合

（４）健康度の状況（大きいほど良い）

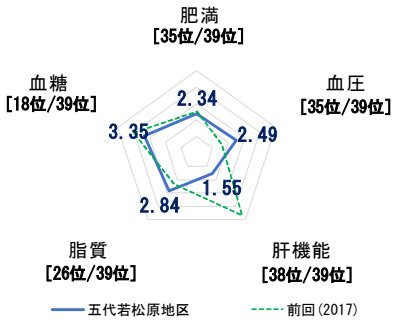
①　介護健康度

11.04 点/20 点
【29 位/39 地区】



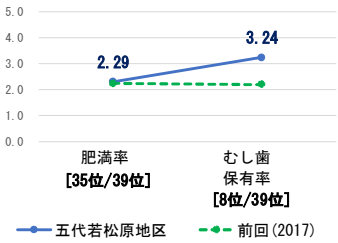
②　生活習慣健康度

12.58 点/25 点
【35 位/39 地区】



③　子ども健康度

5.53 点/10 点
【30 位/39 地区】



※各関連指標は全市を３点とした場合の値，市全体より健康度が高い：　低い：

（５）地域診断

ア　データからみる地域の状況

【地域資源・生活環境】
- 高齢化率は，市全体と同じ。
- 地区内には複数のスポーツジム，隣接地区には県総合運動公園がある。
- 五若の日記念事業や五代夏祭りのほか，徘徊模擬訓練，各種運動に関する大会など，地域活動が盛んな地域である。

【健診・医療・介護】
- 特定健診等受診率は，市全体に比べて「乳がん」「前立腺がん」「大腸がん」が高く，「子宮がん」がやや高い。
- 生活習慣病リスク保有率は，市全体に比べて「血圧」「血糖・脂質」が高く，「肝機能」「肥満」がやや高く，「脂質」は特に低く，「血糖・血圧」は低い。
- 行動特性は，市全体に比べて「生活改善意欲なし」がやや低い。
- １人当たり年間医療費等は，市全体に比べて特に高い。
- 要介護認定者の有病率は，市全体に比べて「糖尿病」「脳梗塞」は特に高い。

【生活習慣・社会参加】
- 要支援・要介護リスクは，市全体に比べて「虚弱リスク」がやや高く，「運動低下リスク」「転倒リスク」が低い。
- 認知症リスク等は，市全体に比べて「閉じこもりリスク」がやや高く，「認知症Ⅱ以上の割合」が特に低い。
- 生活習慣は，市全体に比べて「主食・主菜・副菜を揃えた食事あり」が特に高く，「歯周病知識あり」が高く，「30 分以上の運動あり」がやや低い。
- 社会参加・社会的ネットワークは，市全体に比べて「手段的サポート受領者割合」が高く，「スポーツ関係のグループへの参加割合」がやや高く，「はつらつ教室参加者割合」「ソーシャルキャピタル（社会参加）」がやや低い。

【健康度】
- 介護健康度は，「平均年齢」「平均自立期間」の点数が市全体に比べて低い。
- 生活習慣健康度は，「肝機能」の点数が特に低く，「肥満」「血圧」の点数が低い。
- 子ども健康度は，「肥満率」の点数が市全体に比べて低い。「むし歯保有率」は市全体に比べて同等である。

イ　地域の課題

- 五代若松原地区においては，生活習慣病リスク保有率は，市全体に比べて「血圧」「血糖・脂質」が高く，医療費の内訳は，「糖尿病」「脳梗塞」が特に高い。行動特性は，市全体に比べて「歯周病知識あり」「主食・主菜・副菜を揃えた食事あり」が特に高く，「飲酒習慣なし」がやや高く，生活習慣に関する意識は高いが，「30 分以上の運動あり」がやや低いため，運動習慣が継続できるよう，健康づくり推進員とともに，運動に関する取組を強化していく必要がある。
- 介護健康度は，「平均年齢」「平均自立期間」「要介護度」が低いことから，高齢者が要介護状態にならないよう，フレイル予防に努めるとともに身近な場所での社会参加を促すなど，介護予防の充実を図っていく必要がある。